中小企業景況情報

2024年 7月~ 9月期実績 2024年 10月~ 12月期予想

富山県商工会連合会

中小企業景況状況 2024年 7月~ 9月期

富山県下商工会地区における中小企業の景気動向を定期的に把握し、業界に対する情報の提供並びに商工会が行う経営改善普及事業の基礎資料に資するため、四半期毎に定点観測調査を実施した。

「調査基準]

- 1.調 査 方 法 商工会の経営指導員による訪問調査
- 2.調 查 時 点 2024年9月1日
- 3.調査対象期間 2024年7~9月期実績および2024年10~12月期見通し
- 4.回答企業内訳および回答率

業種	対象企業数	回答企業数	回答率(%)	地	区	名
製造業	29	29	100%	朝日町	•	入善町
建設業	23	21	91%	上市町	•	立山舟橋
小売業	40	39	98%	富山市南	•	富山市八尾山田
		- 00		富山市北	•	射水市
サービス業	58	58	100%	高岡市	•	小矢部市
合計	150	147	98%	庄川町	•	南砺市

(注) 本調査でのD. Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目について、前年同期と比較して増加 (上昇、好転) 企業割合と減少 (低下、悪化) 企業割合の差を示すものである。

産業全体

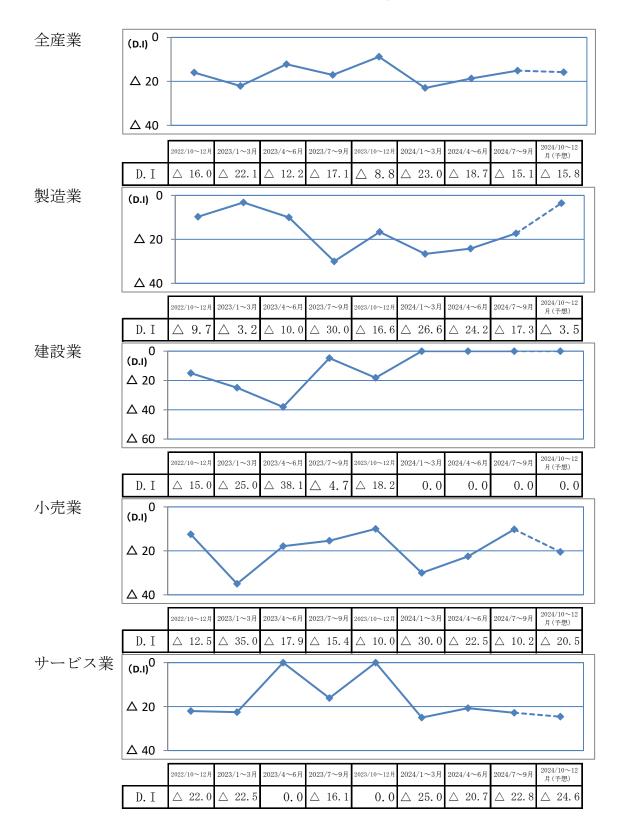
- ・ 業況判断D. Iは、前期比3. 6ポイント好転し△15. 1となった。 来期は0. 7ポイント悪化し△15. 8を予想している。
- ・売上額D. Iは、前期比2. 5ポイント好転し \triangle 10. 2となった。 来期は3.4ポイント悪化し \triangle 13. 6を予想している。
- ・ 採算D. Iは、前期比0. 3ポイント悪化し△29. 2となった。 来期は5.6ポイント好転し△23.6を予想している。
- ・ 資金繰りD. Iは、前期比4. 3ポイント悪化し \triangle 12. 5となった。 来期は4.9ポイント好転し \triangle 7. 6を予想している。

1. 業況判断D・Iの推移(前年同期比)

[前期比、製造業・小売業は好転、建設業は横ばい、サービス業は悪化]

今期は、製造業 \triangle 17.3(前期比+6.9ポイント)、小売業 \triangle 10.2(同+12.3ポイント)は好転し、建設業 0.0(同±0.0ポイント)は横ばい、サービス業 \triangle 22.8(同-2.1ポイント)は悪化した。

来期は、製造業 \triangle 3.5 (当期比+13.8ポイント) は好転し、建設業 \triangle 0.0 (同 \pm 0.0ポイント) は横ばい、小売業 \triangle 20.5 (同-10.3ポイント)、サービス業 \triangle 24.6 (同-1.8ポイント) は悪化を予想している。

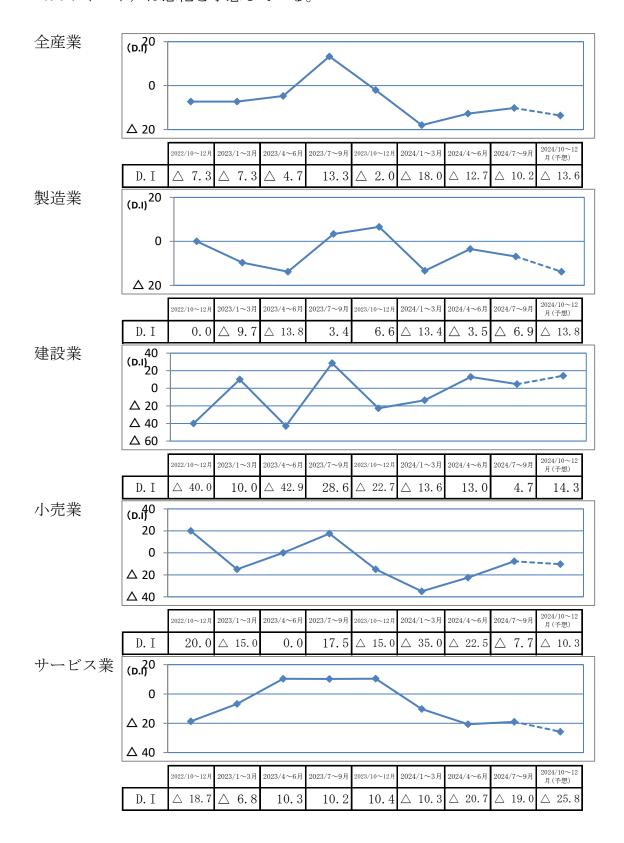


2. 売上額D・Iの推移(前年同期比)

[前期比、製造業・建設業は悪化、サービス業・小売業は好転]

今期は、製造業 \triangle 6.9(前期比-3.4ポイント)、建設業4.7(同-8.3ポイント)は悪化、小売業 \triangle 7.7(同+14.8ポイント)、サービス業 \triangle 19.0(同+1.7ポイント)は好転した。

来期は、建設業14.3 (当期比+9.6ポイント) は好転し、製造業 \triangle 13.8 (同-6.9ポイント)、小売業 \triangle 10.3 (同-2.6ポイント)、サービス業 \triangle 25.8 (同-6.8ポイント) は悪化を予想している。

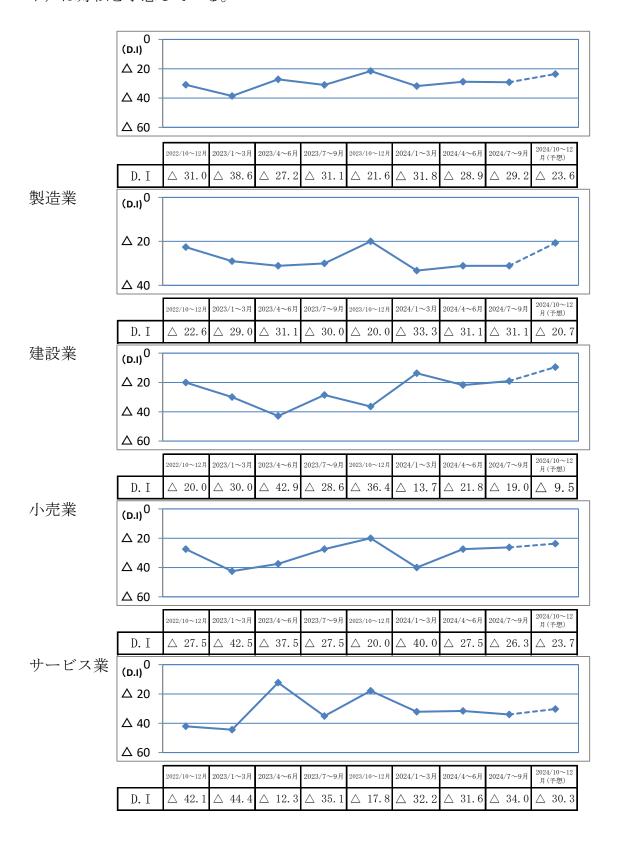


3. 採算D・Iの推移(前年同期比)

[前期比、製造業は横ばい、建設業・小売業は好転、サービス業は悪化]

今期は、製造業 \triangle 31.1 (前期比±0.0ポイント) は横ばい、建設業 \triangle 19.0 (同+2.8ポイント)、小売業 \triangle 26.3 (同+1.2ポイント) は好転、サービス業 \triangle 34.0 (同-2.4ポイント) は悪化した。

来期は、製造業 \triangle 20.7(当期比+10.4ポイント)、建設業 \triangle 9.5(同+9.5ポイント)、小売業 \triangle 23.7(同+2.6ポイント)、サービス業 \triangle 30.3(同+3.7ポイント)は好転を予想している。

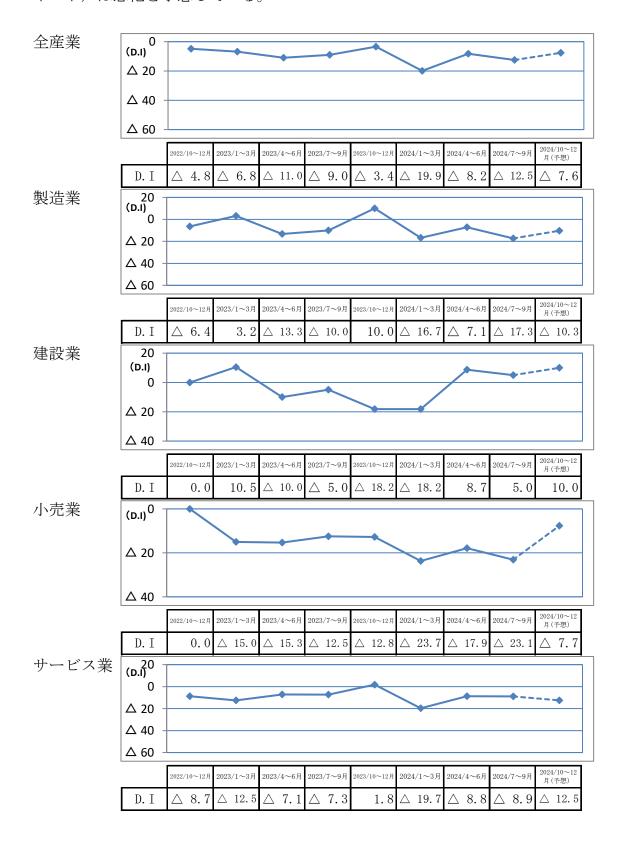


4. 資金繰りD・Iの推移(前年同期比)

[前期比、製造業・建設業・小売業・サービス業はいずれも悪化]

今期は、製造業 \triangle 17.3(前期比-10.2ポイント)、建設業5.0(同-3.7ポイント)、小売業 \triangle 23.1(同-5.2ポイント)、サービス業 \triangle 8.9(同-0.1ポイント)はいずれも悪化した。

来期は、製造業 \triangle 10.3(当期比+7.0ポイント)、建設業10.0(同+5.0ポイント)、小売業 \triangle 7.7(同+15.4ポイント)は好転、サービス業 \triangle 12.5(同-3.6ポイント)は悪化を予想している。

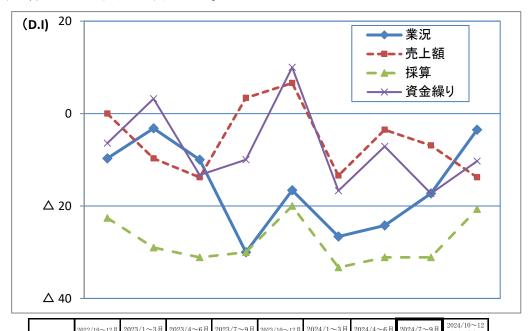


製造業

1. 主要景況項目の動向

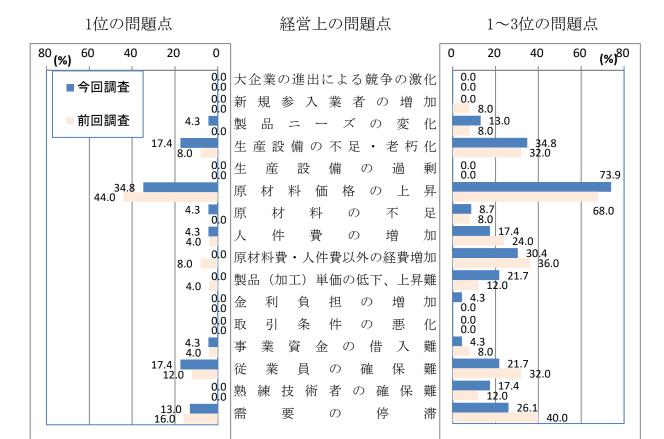
業況判断D. Iは \triangle 17. 3(前期比+6. 9ポイント)、売上額D. Iは \triangle 6. 9(同-3. 4ポイント)、採算D. Iは \triangle 31. 1(同±0. 0ポイント)、資金繰りD. Iは \triangle 17. 3(同-10. 2ポイント)であった。来期のD. Iの項目は、業況判断・採算・資金繰りD. Iの項目は好転、売上額D. Iは悪化を予想している。

全国との比較では、今期富山県は業況判断・売上額D. Iの項目で上回り、採算・資金繰りD. Iの項目で下回った。



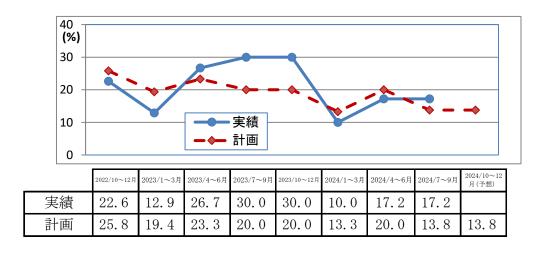
		2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月	2024/4~6月	2024/7~9月	月(予想)
業況	好転	22.6	25.8	16. 7	6. 7	16. 7	6. 7	17. 2	10.3	10.3
	不変	45. 1	45. 2	56.6	56. 6	50.0	60.0	41.4	62. 1	75. 9
	悪化	32. 3	29.0	26. 7	36. 7	33. 3	33. 3	41.4	27.6	13.8
	D. I	△ 9.7	△ 3.2	△ 10.0	△ 30.0	△ 16.6	△ 26.6	△ 24.2	△ 17.3	△ 3.5
	D. I (全国)	△ 14.6	△ 17.1	△ 11.3	△ 15.4	△ 13.3	△ 16.6	△ 16.5	△ 19.3	△ 14.2
売上額	好転	25.8	22.6	27.6	26. 7	43.3	33. 3	31.0	27.6	17. 2
	不変	48. 4	45. 1	31.0	50.0	20.0	20.0	34. 5	37. 9	51.8
	悪化	25.8	32.3	41.4	23. 3	36. 7	46. 7	34. 5	34. 5	31.0
	D. I	0.0	△ 9.7	△ 13.8	3. 4	6.6	△ 13.4	△ 3.5	△ 6.9	△ 13.8
	D. I (全国)	△ 3.5	△ 8.7	△ 1.5	△ 5.0	△ 7.4	△ 11.6	△ 11.4	△ 13.9	△ 10.7
採算	好転	16. 1	12.9	10.3	3. 3	13.3	10.0	10.3	3.4	3. 4
	不変	45. 2	45. 2	48.3	63. 4	53. 4	46. 7	48.3	62. 1	72. 5
	悪化	38. 7	41.9	41.4	33. 3	33. 3	43. 3	41.4	34. 5	24. 1
	D. I	△ 22.6	△ 29.0	△ 31.1	△ 30.0	△ 20.0	△ 33.3	△ 31.1	△ 31.1	△ 20.7
	D. I (全国)	△ 28.2	△ 29.5	△ 20.3	△ 21.9	△ 21.0	△ 22.0	△ 23.4	△ 25.0	△ 20.4
資金繰り	好転	6.5	9. 7	0.0	3. 3	16. 7	10.0	3.6	3.4	6.9
	不変	80.6	83.8	86.7	83. 4	76.6	63. 3	85. 7	75. 9	75. 9
	悪化	12. 9	6.5	13. 3	13. 3	6. 7	26. 7	10.7	20.7	17. 2
	D. I	△ 6.4	3. 2	△ 13.3	△ 10.0	10.0	△ 16.7	△ 7.1	△ 17.3	△ 10.3
	D. I (全国)	△ 16.2	△ 17.1	△ 11.6	△ 13.8	△ 12.3	△ 15.2	△ 13.2	△ 14.7	△ 14.2

1位の問題点の上位は、①「原材料価格の上昇」(34.8%)、②「生産設備の不足・老朽化」「従業員の確保難」(17.4%)、③「需要の停滞」(13.0%)であった。これを1~3位までの合計で見ると、①「原材料価格の上昇」(73.9%)、②「生産設備の不足・老朽化」(34.8%)、③「原材料費・人件費以外の経費増加」(30.4%)の順となった。「原材料価格の上昇」「生産設備の不足・老朽化」「従業員の確保難」等が上位に定着している。



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比横ばいの17.2%となった。 投資内容は、工場建物、生産設備、車両・運搬具、OA機器となっている。 来期計画は3.4ポイント減少の13.8%となっている。投資内容は、生産設備、 工場建物、車両・運搬具、OA機器となっている。

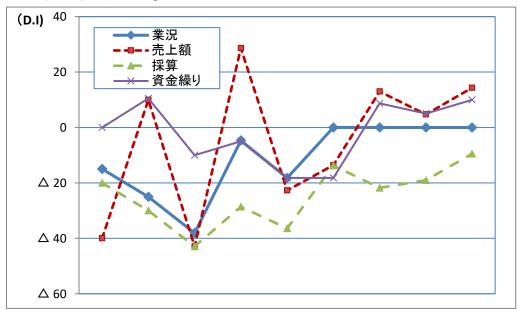


建設業

1. 主要景況項目の動向

業況判断D. Iは 0.0(前期比 ± 0.0 ポイント)、売上額D. Iは4.7(同-8.3ポイント)、採算D. Iは $\triangle 19.0$ (同+2.8ポイント)、資金繰りD. Iは5.0(同-3.7ポイント)であった。来期は、業況判断D. Iの項目は横ばい、売上額・採算・資金繰りD. Iの項目は好転を予想している。

全国との比較では、今期富山県は、業況判断・売上額・採算・資金繰りD. Iの項目はいずれも上回った。



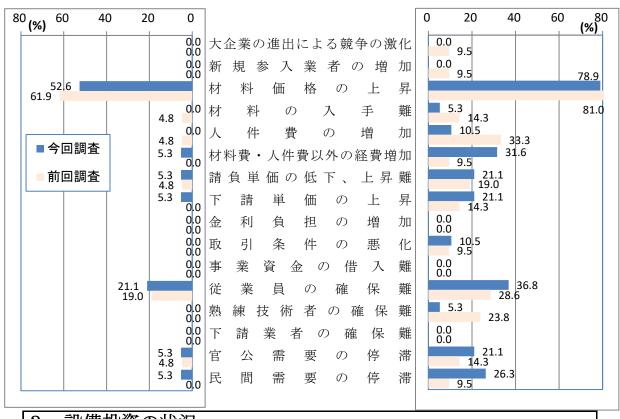
		2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月	2024/4~6月	2024/7~9月	2024/10~12 月 (予想)
業況	好転	15. 0	10.0	9.5	14. 3	4. 5	18. 2	13.0	14. 3	9.5
	不変	55. 0	55.0	42.9	66. 7	72.8	63. 6	74.0	71.4	81.0
	悪化	30.0	35.0	47.6	19.0	22.7	18. 2	13.0	14. 3	9.5
	D. I	△ 15.0	△ 25.0	△ 38.1	△ 4.7	△ 18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	D. I (全国)	△ 17.1	△ 20.3	△ 13.7	△ 15.6	△ 12.7	△ 15.9	△ 11.0	△ 13.7	△ 13.7
売上額	好転	25. 0	40.0	19.0	52. 4	18. 2	27. 3	30. 4	33. 3	28.6
	不変	10.0	30.0	19. 1	23.8	40.9	31.8	52. 2	38. 1	57. 1
	悪化	65.0	30.0	61.9	23.8	40.9	40.9	17. 4	28.6	14.3
	D. I	△ 40.0	10.0	△ 42.9	28.6	△ 22.7	△ 13.6	13.0	4.7	14. 3
	D. I (全国)	△ 14.0	△ 15.5	△ 11.6	△ 14.0	△ 14.3	△ 15.9	△ 9.3	△ 15.2	△ 17.1
採算	好転	5. 0	10.0	0.0	0.0	0.0	22. 7	13.0	14. 3	14.3
	不変	70.0	50.0	57. 1	71. 4	63.6	40.9	52. 2	52.4	61.9
	悪化	25. 0	40.0	42.9	28.6	36. 4	36. 4	34.8	33.3	23.8
	D. I	△ 20.0	△ 30.0	△ 42.9	△ 28.6	△ 36.4	△ 13.7	△ 21.8	△ 19.0	△ 9.5
	D. I (全国)	△ 32.6	△ 36.1	△ 25.8	△ 26.9	△ 25.3	△ 27.3	△ 23.9	△ 23.7	△ 21.9
資金繰り	好転	0.0	15.8	5.0	0.0	0.0	0.0	13.0	10.0	15.0
	不変	100.0	78. 9	80.0	95. 0	81.8	81.8	82. 7	85.0	80.0
	悪化	0.0	5. 3	15.0	5. 0	18. 2	18. 2	4. 3	5.0	5.0
	D. I	0.0	10.5	△ 10.0	△ 5.0	△ 18.2	△ 18.2	8. 7	5.0	10.0
	D. I (全国)	△ 10.1	△ 12.8	△ 7.0	△ 11.4	△ 9.4	△ 13.5	△ 7.6	△ 10.2	△ 11.3

1位の問題点の上位は、①「材料価格の上昇」(52.6%)、②「従業員の確保難」(21.1%)、③「材料費・人件費以外の経費増加」「請負単価の低下、上昇難」「下請単価の上昇」「官公需要の停滞」「民間需要の停滞」(5.3%)であった。 これを1~3位までの合計でみると、①「材料価格の上昇」(78.9%)、②「従業員の確保難」(36.8%)、③「材料費・人件費以外の経費増加」(31.6%)の順となった。「材料価格の上昇」「従業員の確保難」「材料費・人件費以外の経費増加」等が上位に定着している。



経営上の問題点

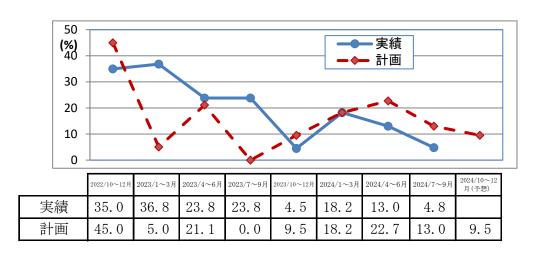
1~3位の問題点



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比8.2ポイント減少の4.8%となった。投資内容は、車両・運搬具となっている。

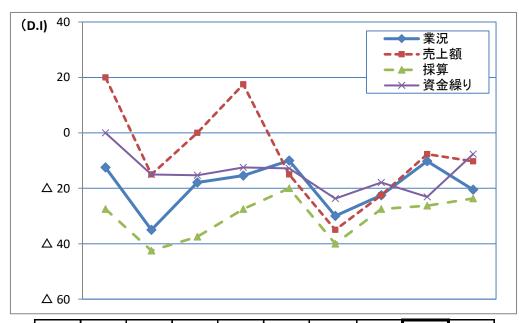
来期計画は4.7ポイント増加の9.5%となっている。投資内容は、建設機械、車両・運搬具となっている。



小 売 業

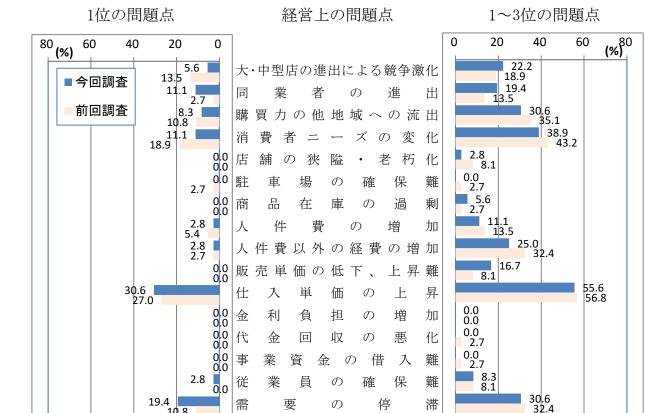
1. 主要景況項目の動向

業況判断D. Iは \triangle 10. 2(前期比+12. 3ポイント)、売上額D. Iは \triangle 7. 7(同+14. 8 ポイント)、採算D. Iは \triangle 26. 3(同+1. 2ポイント)、資金繰りD. Iは \triangle 23. 1(同-5. 2ポイント)であった。来期は、採算・資金繰りD. Iの項目は好転、業況判断・売上額D. Iの項目は悪化を予想している。全国との比較では、今期富山県は、業況判断・売上額・採算D. Iの項目で上回り、資金繰りD. Iの項目で下回った。



		2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月	2024/4~6月	2024/7~9月	2024/10~12 月(予想)
業況	好転	20.0	10.0	7. 7	12.8	10.0	5.0	7. 5	15. 4	10.3
	不変	47. 5	45.0	66.7	59. 0	70.0	60.0	62.5	59.0	58. 9
	悪化	32. 5	45.0	25.6	28. 2	20.0	35. 0	30.0	25.6	30.8
	D. I	△ 12.5	△ 35.0	△ 17.9	△ 15.4	△ 10.0	△ 30.0	△ 22.5	△ 10.2	△ 20.5
	D. I (全国)	△ 31.5	△ 34.7	△ 24.4	△ 29.0	△ 29.0	△ 31.0	△ 26.5	△ 27.6	△ 25.9
売上額	好転	45.0	27. 5	30.0	45. 0	20.0	20.0	22. 5	28.2	20.5
	不変	30.0	30.0	40.0	27. 5	45.0	25. 0	32. 5	35. 9	48.7
	悪化	25. 0	42.5	30.0	27. 5	35.0	55. 0	45.0	35. 9	30.8
	D. I	20.0	△ 15.0	0.0	17. 5	△ 15.0	△ 35.0	△ 22.5	△ 7.7	△ 10.3
	D. I (全国)	△ 18.4	△ 22.8	△ 10.5	△ 12.6	△ 17.6	△ 23.2	△ 20.1	△ 21.5	△ 21.6
採算	好転	10.0	7. 5	2.5	7. 5	5.0	0.0	5. 0	5. 3	7. 9
	不変	52. 5	42.5	57. 5	57. 5	70.0	60.0	62.5	63. 1	60.5
	悪化	37. 5	50.0	40.0	35. 0	25.0	40.0	32. 5	31.6	31.6
	D. I	△ 27.5	△ 42.5	△ 37.5	△ 27.5	△ 20.0	△ 40.0	△ 27.5	△ 26.3	△ 23.7
	D. I (全国)	△ 39.6	△ 43.7	△ 32.6	△ 35.0	△ 33.8	△ 34.6	△ 32.1	△ 30.3	△ 29.7
資金繰り	好転	12.8	5.0	2.6	7. 5	5. 1	0.0	2.6	5. 1	7.7
	不変	74. 4	75.0	79.5	72. 5	77.0	76. 3	76. 9	66.7	76. 9
	悪化	12.8	20.0	17. 9	20.0	17. 9	23. 7	20. 5	28. 2	15. 4
	D. I	0.0	△ 15.0	△ 15.3	△ 12.5	△ 12.8	△ 23.7	△ 17.9	△ 23.1	△ 7.7
	D. I (全国)	△ 23.7	△ 27.3	△ 19.5	△ 21.1	△ 22.0	△ 22.7	△ 20.2	△ 19.0	△ 18.6

1位の問題点の上位は、①「仕入単価の上昇」(30.6%)、②「需要の停滞」 (19.4%)、③「同業者の進出」「消費者ニーズの変化」(11.1%)であった。 れを1~3位までの合計で見ると、①「仕入単価の上昇」(55.6%)、②「消費者 ニーズの変化」(38.9%)、③「購買力の他地域への流出」「需要の停滞」 (30.6%) の順となった。「仕入単価の上昇」「需要の停滞」「消費者ニーズの 変化」等が上位に定着している。



設備投資の状況

19.4

今期設備投資を実施した企業は、前期比0.3ポイント増加の12.8%となった。 投資内容は、販売設備、車両・運搬具、付帯施設、OA機器、福利厚生施設と なっている。

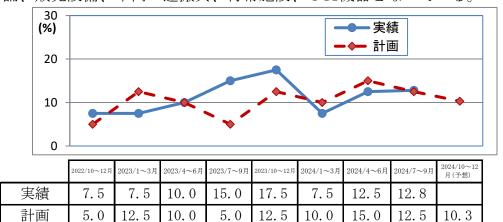
 \mathcal{O}

要

停

滞

来期計画は2.5ポイント減少の10.3%となっている。投資内容は、土地、店 舗、販売設備、車両・運搬具、付帯施設、OA機器となっている。

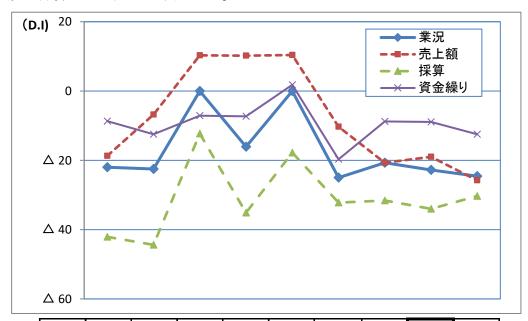


サービス業

1. 主要景況項目の動向

業況判断D. Iは $\triangle 22.8$ (前期比-2.1ポイント)、売上額D. Iは $\triangle 19.0$ (同+1.7 ポイント)、採算D. Iは $\triangle 34.0$ (同-2.4ポイント)、資金繰りD. Iは $\triangle 8.9$ (同-0.1ポイント)であった。来期は、採算D. Iの項目は好転、業況判断・売上額・資金繰りD. Iの項目は悪化を予想している。

全国との比較では、今期富山県は、資金繰りD. Iの項目で上回り、業況判断・売上額・採算D. Iの項目で下回った。



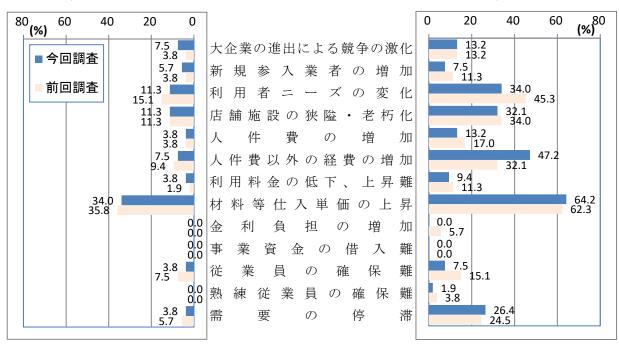
		2022/10~12月	2023/1~3月	2023/4~6月	2023/7~9月	2023/10~12月	2024/1~3月	2024/4~6月	2024/7~9月	2024/10~12 月 (予想)
業況	好転	10. 2	10.3	19.0	10. 7	21.4	10. 7	13.8	7. 0	0.0
	不変	57. 6	56. 9	62.0	62. 5	57. 2	53. 6	51. 7	63. 2	75. 4
	悪化	32. 2	32.8	19.0	26.8	21.4	35. 7	34. 5	29.8	24. 6
	D. I	△ 22.0	△ 22.5	0.0	△ 16.1	0.0	△ 25.0	△ 20.7	△ 22.8	△ 24.6
	D. I (全国)	△ 20.4	△ 21.5	△ 1.7	△ 5.6	△ 11.4	△ 15.5	△ 11.4	△ 12.4	△ 11.4
売上額	好転	23. 7	23. 7	36. 2	37. 3	32.8	27.6	17. 2	15. 5	5. 2
	不変	33. 9	45.8	37. 9	35. 6	44.8	34. 5	44. 9	50.0	63.8
	悪化	42. 4	30. 5	25. 9	27. 1	22.4	37. 9	37. 9	34. 5	31.0
	D. I	△ 18.7	△ 6.8	10.3	10. 2	10.4	△ 10.3	△ 20.7	△ 19.0	△ 25.8
	D. I (全国)	△ 7.4	△ 2.6	14. 5	14. 0	5. 1	△ 3.7	△ 0.9	△ 1.0	△ 4.6
採算	好転	7. 0	3. 7	19.3	5. 3	14. 3	7. 1	10.5	7. 1	3.6
	不変	43. 9	48. 2	49. 1	54. 3	53.6	53. 6	47. 4	51.8	62. 5
	悪化	49. 1	48. 1	31.6	40.4	32. 1	39. 3	42. 1	41.1	33. 9
	D. I	△ 42.1	△ 44.4	△ 12.3	△ 35.1	△ 17.8	△ 32.2	△ 31.6	△ 34.0	△ 30.3
	D. I (全国)	△ 36.7	△ 38.2	△ 21.8	△ 21.5	△ 23.2	△ 26.5	△ 24.1	△ 22.1	△ 20.3
資金繰り	好転	8.8	3. 6	3.6	0.0	7. 3	7. 1	7. 0	3.6	1.8
	不変	73. 7	80.3	85. 7	92. 7	87.2	66. 1	77. 2	83.9	83.9
	悪化	17. 5	16. 1	10.7	7. 3	5. 5	26.8	15.8	12.5	14. 3
	D. I	△ 8.7	△ 12.5	△ 7.1	△ 7.3	1.8	△ 19.7	△ 8.8	△ 8.9	△ 12.5
	D. I (全国)	△ 17.6	△ 18.4	△ 8.5	△ 10.1	△ 10.6	△ 15.9	△ 10.9	△ 11.3	△ 10.8

1位の問題点の上位は、①「材料等仕入単価の上昇」(34.0%)、②「利用者ニーズの変化」「店舗施設の狭隘・老朽化」(11.3%)、③「大企業の進出による競争の激化」「人件費以外の経費の増加」(7.5%)であった。これを1~3位までの合計で見ると、①「材料等仕入単価の上昇」(64.2%)②「人件費以外の経費の増加」(47.2%)、③「利用者ニーズの変化」(34.0%)の順となった。「材料等仕入単価の上昇」「利用者ニーズの変化」「人件費以外の経費の増加」「店舗施設の狭隘・老朽化」等が上位に定着している。

1位の問題点

経営上の問題点

1~3位の問題点



3. 設備投資の状況

今期設備投資を実施した企業は、前期比3.5ポイント増加し13.8%となった。 投資内容は、建物、サービス、車両・運搬具、付帯施設となっている。 来期計画は8.6ポイント減少の5.2%となっている。投資内容は、建物等となっ

- 来期計画は8.6ポイント減少の5.2%となっている。投資内容は、建物等となっ ている。

